

回覧

地域再生 協議会だより

百合が丘 2-29-6(老人憩いの家) 59-9356(火・金午前) isshiki-saisei@grace.ocn.ne.jp

お試し移住中心に **空き家対策**

「コワーキングスペース」を開設

地域再生協議会(岡村昭寿会長)は国交省に対し、「お試し移住」を中心にした R3 年度空き家対策事業への応募書を提出した。昨年度から始めた町外からの短期滞在(月 1 回、2 泊 3 日)を半年間にわたって実施するほか、県住宅供給公社の協力を得て商店街にテレワークスペースを新設する。併せて、この取り組みを来年以後も継続する方策についても検討していく。

■応募事業の期間内の事業実施								
事業項目	具体的な取組内容							
		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
①	お試し移住全体の企画の練り直し							
	お試し移住用住宅の整備							
	コワーキングスペースの整備							
	コワーキングスペースの運営							
	広報・募集							
	ガイダンス&町案内		★	★	★	★	★	★
	物件案内		★	★	★	★	★	★
	先輩移住者等との交流会の実施		★	★	★	★	★	★
	アンケートの実施		★	★	★	★	★	★
②	協働組織の今後のあり方検討							
③	お試し移住のガイドライン(原案)作成							

国交省事業への応募は、H30 年度に空き家対策部会(廣上正市部会長)を設けて以来 3 度目。空き家を出さない啓蒙活動からスタートし、昨年からは町外からの転入者を呼び込む「循環居住」へと進んでいる。

申請案は、反響の大きかったお試し移住を中心に据え、これに自宅外でのテレワークが可能なコワーキングスペースの整備を加えていること。お試し移住は9月から来年2月にか

けて毎月末、2ファミリーずつ、合計 12 ファミリーを迎え入れる。県公社百合が丘団地にリノベ済み住宅 2 戸を確保する。昨年は年末の 2 か月に集中実施したが、町案内、物件案内、先輩移住者との交流会などを拡充するため、実施期間を長くした。募集広報をていねいに行い、昨年(25 組)以上の応募者を得たい考え。事業経費は約 200 万円。

コワーキングスペースはお試し移住期間中だけでなく、常設的なスペースにできるよう検討する。

U 字構撤去、友情の山の整備進む



一色小・友情の山の登り口にあった U 字構の残骸が、5 月 23 日(日)の関係者の共同作業によって撤去された。この残骸は山で遊ぶ児童だけでなく、山野草観察のお年寄りにとっても邪魔物。コミュニティスクール関係者の呼びかけで、PTA、おやじの会、再生協議会など様々な関係者と子供たち 30 人ほどが撤去作業や池の周

辺清掃を行った。撤去した U 字構は土留め箇所や池の回りに再設置され、有効活用されています。